

事業名	令和7年度の取組目標・課題	令和7年度進捗状況	事業計画・基本目標
病児保育事業 （体調不良児対応型）	児童が保育中に微熱を出すなど「体調不良」となった場合において、保育施設において、安心かつ安全な体制を確保し、通所する児童に対して保健的な対応等を図ります。	例年と同程度の利用数で、安心かつ安全に対応しています。 インフルエンザなどの感染症が季節を問わず流行する傾向があります。常に子どもと保護者の体調を把握し、保育所の感染状況を共有し、休養や受診を勧めるなど保護者支援にも努めています。	子どもと子育てを支援するまちづくり （P24）
保育所における教育・保育課程の充実	のせ保育所では『のせ大好き』～みんなで育てる のせっ子保育～と題し、保育・教育課程を作成しています。 「和太鼓」「さんぽ」「かけっこ」等のプログラムにより、地域、学校と連携しながら進めていきます。能勢ならではの様々な体験を通して、豊かな感情や表現力を育み、創造性の芽生えを培っていきます。 就学前に育ってほしい姿から小学校へとつなぐ取組を推進します。	秋祭りの太鼓やだんじりが話題になる頃には、のせ保育所でも和太鼓が毎日鳴り響いていました。音を聞いた乳児組の子どもたちも「何の音？」「太鼓？」と興味を示し、積み木を和太鼓のバチに見立ててリズムを打つ姿がありました。 引き続き、能勢ならではの様々な体験を通し、豊かな感情や表現力を育み、創造性の芽生えを培っていきます。	子どもと子育てを支援するまちづくり （P25）
5歳児健康診査事業	小学校入学の2年前となる年中児を対象に、子どもの成長や社会性等の発達の確認と就学に向けての相談の場として実施し、子どもの個性や保護者の困りごと等への支援を行うことで、スムーズな就学につなげていきます。 ※年長児支援教室「就学準備教室」 5歳児健診において支援が必要と思われる児や保護者を中心とした年長児を対象に、小学校の授業スタイルを取り入れた学習の基礎作りと家庭学習の取組へのアドバイスを行います。	対象児は36名で、9月に13名の健診を実施しました。残りの23名については、11月及び1月に実施する予定です。	子どもと子育てを支援するまちづくり （P29）

事業名	令和7年度の取組目標・課題	令和7年度進捗状況	事業計画・基本目標
子育て・家庭教育支援事業	<p>家庭教育支援チーム「ほっこり」（家庭教育支援員9名）を子どもの未来応援センターに配置し、家庭訪問による相談対応を実施。</p> <ul style="list-style-type: none">・年長児（5歳児）及び1～6年生の児童のいる家庭を年3回全戸訪問。・子育て・家庭教育情報誌「ほっこり」を発行し家庭訪問対象家庭に配布。・「ほっこり週間(1週間)」を年3回設定し、家庭教育支援チームが学校を訪問し児童生徒と交流します。・家庭教育支援員会議や家庭教育支援員研修会への出席、各種事業(子どもの居場所づくり事業等)に参加。	<p>6月12日より第1回目の家庭訪問を順次実施しました。対象児童は212家庭298名。保護者や児童等、訪問時に家族に会えた件数は195家庭。気付きのあった家庭は33家庭ありました。</p> <p>10月17日より第2回目の家庭訪問を順次実施しました。対象児童は211家庭298名。</p>	子どもと子育てを支援するまちづくり（P30）
インクルーシブ教育の推進	<p>自立活動支援教室に加え、専門家を活用し、指導の参考とするための発達検査や教室の巡回指導、教職員研修、保護者向けの研修を実施することにより、支援教育の充実を図ります。</p> <p>自立活動支援教室受講者 令和6年度 39人（合計471時間）</p>	<p>○自立活動支援教室：受講者：40人（合計470時間） 9月末現在：213時間実施済</p> <p>○発達検査：5回/年間 9月末現在：3回/5回実施済</p> <p>○教室の巡回指導：13時間/30時間実施済</p> <p>○教職員研修：8/1実施済</p> <p>○保護者向研修：7/29実施済</p> <p>特別の教育課程の編成において、専門家による助言をもとに見直しを定期的に実施。適切な学びの場の選択につながっています。また、教職員にとって指導の方向性を確認できる場ともなっています。</p>	子どもと子育てを支援するまちづくり（P30）
子ども関係機関連絡協議会（要保護児童対策協議会）の運営	<p>能勢町子ども関係機関連絡協議会では、児童虐待や支援を必要とする家庭への対応について各関係機関による多方面からのアセスメントを実施し、対応方針について協議します。</p> <p>また、小中一貫の義務教育学校となった強みを生かし、教育と福祉の連携体制を構築します。</p>	<p>5月23日に第1回実務者会議を開催し、対応中の各家庭について支援方針の協議を行いました。</p> <p>6月25日に代表者会議を実施。令和6年度の本町における児童家庭相談の実績について報告し、各機関より昨今の課題、現状を報告していただきました。</p>	子どもと子育てを支援するまちづくり（P31）

事業名	令和7年度の取組目標・課題	令和7年度進捗状況	事業計画・基本目標
子育て応援事業 (子育て講演会等)	<p>地域子育て支援センターでは、外出機会の少ない子育て家庭に外出の楽しさ、親子で過ごす楽しさを感じてもらうことや、父親を含め家族そろっての育児機会の創出を目的に子育て講演会を開催しています。</p> <p>昨年度より、父親の参加率向上のため、日曜日開催を試行したところ、父親や親族の参加率も向上したため、今年度以降もアンケートを実施しながら、より参加しやすい開催を検証していきます。なお参加者の傾向を分析しながら、事業目的が達成できるよう周知方法の工夫を検討していきます。</p> <ul style="list-style-type: none">・「子育て講演会」を2回開催予定・ふれあいフェスタ 他機関と共催 年1回	<p>子育て世帯の家庭（祖父母他も含めて）の皆さんが「講演会に参加したいな」と、家族での外出のきっかけになっていただけるような講演会やイベントを計画し、夏に子育て講演会を実施しました。LINE配信などウェブサイトやポスターの掲示、保護者同士の誘い合い、支援センター職員他などからの周知を行ったことで、延べ69名に参加していただきました。</p> <p>今後も実施後のアンケートをもとに日曜日の開催を基本として進めていきます。引き続き、子育て世帯のニーズをアンケートなどから調査し、参加していただける講演会を計画していきます。</p>	子どもと子育てを支援するまちづくり (P32)
子育てつながり支援事業	<p>子育て期間中の育児不安の解消や地域社会からの孤立を防ぐとともに、親同士のつながりや地域とのつながりの支援に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none">・親と子のりらくすたいむ「tsu★do★i」の開催・保健師の専任担当制により、妊娠期間及び育児に関する相談やフォローなど切れ目ない支援の実施・予防接種スケジュール支援や育児情報を提供する、能勢町子育てモバイル配信サービス「のせっ子未来応援ナビ」の提供	月1回のTsu★do★iを実施し、母・父・子の延べ78名(9月末時点)が参加しています。	子どもと子育てを支援するまちづくり (P32)
ファミリー・サポート・センター事業	<p>安全・安心なサービスが継続して提供できるよう、会員向けの講習会を実施します。</p> <p>事業の周知と登録会員の増加を図っていくため、会員募集を広報やホームページ、子育て情報誌、おたよりなど幅広く掲載するとともに、会員同士の交流会を行うなど、サービス提供体制が継続していけるよう環境づくりに努めます。</p>	<p>昨今ファミサポの利用がない状況でしたが、今年度に入り1件の預かり利用申込があり実施しました。</p> <p>子育て世帯への周知や提供会員として活動していただける世代の方々にも、より活動を知っていただけるように努めていきます。</p> <p>活動をする上での安心・安全を会員同士が互いに共有していただけるよう、夏に講習会を3回実施し、延べ38名に参加していただきました。</p> <p>引き続き、相互関係が良好になるように、またファミサポの活動を知っていただけるように交流会（ワークショップ）を開催し、幅広い周知に努めていきたいと思います。</p>	子どもと子育てを支援するまちづくり (P33)

事業名	令和7年度の実施目標・課題	令和7年度進捗状況	事業計画・基本目標
プレイルーム（保健福祉センター）の開放	<p>未就学児とその保護者を対象とし、プレイルーム（保健福祉センター）を第1・3・5火曜日、第2・4木曜日を基本として、一般開放を行います。</p> <p>子育て家庭が安心して遊べる場、集える場となるよう今後も継続していきます。</p> <p>遊び場のない家庭の居場所として、プレイルームを利用してもらえよう、LINEの活用検討も含め、子育て支援センターのおたよりを中心に更なる周知に努めていきます。</p>	<p>今年度よりプレイルームの使用日を第1・3・5火曜日、第2・4木曜日を基本として開放日を設け、実施しています。</p> <p>利用頻度は多くありませんが、保護者が必要とされるときに利用していただけのようが伺えます。今年度は幼稚園の春・夏休みの利用がありました。</p> <p>他の開放と違い、事前予約を必要としないため利便性があります。今後も幅広く利用していただけるためにも、LINE配信、ウェブサイトや子育て支援センターのおたより「ほ・わ・ほ・わ」を通じて周知していきます。</p>	<p>子どもたちの豊かな遊び・学びを支えるまちづくり（P34）</p>
放課後児童クラブ事業	<p>就労等により、放課後の時間帯に保護者が家にいない児童（1～6年生）を対象として、遊びや生活の場を提供することで、保護者の就労支援・児童の健全育成を図ることを目的とするものです。</p> <p>令和7年度については、昨年度に引き続き、在籍児童への対応と、支援体制の充実化を図るため、児童数の多いコアタイム（14：45～17：45）については、支援員を1～2名増員し、最大6～7名体制での保育を実施します。</p> <p>また、令和7年4月時点で発生している待機解消に向け、定員の拡大に取り組めます。</p> <p>※令和7年4月時点での入会者数：常時56人、長期14人、一時36人</p>	<p>【保育について】</p> <p>児童数の多いコアタイム（14：45～17：45）は、支援員を1～2名増員し、6～7名体制での保育を実施しています。</p> <p>支援の必要な児童については、更に支援員を増員し、1対1での保育を行っています。</p> <p>【定員拡大について】</p> <p>6月に能勢町放課後児童クラブに関する条例の改正を行い、7月から定員を常時70人、長期30人に拡大しました。</p> <p>定員の拡大後、4月から生じていた待機は解消しています。</p> <p>※10月時点での入会者数：常時68人、長期14人、一時29人</p>	<p>子どもたちの豊かな遊び・学びを支えるまちづくり（P35）</p>
子どもの居場所づくり事業	<p>【学校プラットフォーム型】</p> <p>学校長期休業中に前期課程（1～6年）を対象に学校施設を活用し、体験プログラム、学習会、昼食の提供を行います。</p> <p>【地域展開型】</p> <p>町内の社会福祉施設の協力を得て、誰もが安心して集える居場所づくり（フリースペース、子ども食堂の設置）に取り組めます。</p>	<p>【学校プラットフォーム型】</p> <p>夏休み期間に3日間（7/22、7/23、7/25）開催。延べ155名参加。秋休みに1日間（10/6）開催。54名参加。冬休みに2日間（12/25、26）実施予定。</p> <p>【地域展開型】</p> <p>夏休み期間に町内の計7施設で子ども食堂を実施。定期開催、不定期開催合わせて27日間開催し、延べ687名利用。</p>	<p>子どもたちの豊かな遊び・学びを支えるまちづくり（P35）</p>

事業名	令和7年度の実施目標・課題	令和7年度進捗状況	事業計画・基本目標
児童館活動	学校以外の子どもたちの居場所として児童館活動（前期課程：水曜 後期課程：木曜）を実施します。 生きる権利を守るために差別の現実を学ぶ場、また勉強、体験、遊びなどの活動を通じて「なかまを大切にすること、じぶんを大切にすること、ひとつのことを協力してやりとげること」を育んでいきます。	5月第3週より実施中。前期課程46人、後期課程15人が登録しており、それぞれ半期ごとに子どもたちで活動計画を立て、指導員による指導の元に活動を行っています。（随時募集中）	子どもたちの豊かな遊び・学びを支えるまちづくり（P35）
放課後子ども教室	前期課程の子どもが安全安心に過ごすことができる居場所として放課後子ども教室を開催し、その中で地域住民の参画・協力を得ながら「学び」と「体験」を構成とした居場所づくりの取組を実施します。 月・火・金 放課後 4月から実施	4月第3週より実施中。工作、スポーツ体験、読み聞かせ、自主学習や特別体験の「ポッチャ」等の実施による放課後の居場所づくりの取組を実施しています。	子どもたちの豊かな遊び・学びを支えるまちづくり（P35）
地域と連携した部活動システム	学校部活動の地域展開の実現に向けて、能勢町の地域性に合わせた今後の部活動の在り方を検討します。また必要に応じて外部指導員を雇用し、部活動の充実を図ります。	部活動の外部指導員を女子バレーボール部及び卓球部で雇用。部活動の充実につなげています。また、能勢町の地域性に合わせた地域展開のあり方について検討しています。	子どもたちの豊かな遊び・学びを支えるまちづくり（P36）

事業名	令和7年度の実施目標・課題	令和7年度進捗状況	事業計画・基本目標
スポーツ教室やスポーツイベントの開催	<p>能勢町体育連盟事業における支援やスポーツ推進委員会主催で基礎体力の向上やスポーツに楽しみながら親しむ機会を設け、スポーツの普及と健康づくりを図ります。</p> <p>また、子どもの居場所づくり事業の一環と位置付け、休日の子どもの活動の場を提供します。</p>	<p>9月27日に「のせスポーツ学校」イベントによるスポーツ交流会を実施しました。11月22日にグラウンドゴルフ大会を開催します。また、放課後子ども教室事業の中でモルックの体験遊びを実施し、子どもたちへのスポーツの普及を行っています。</p>	<p>子どもたちの豊かな遊び・学びを支えるまちづくり（P37）</p>
体力づくり推進事業	<p>大阪経済大学と連携し、走力及び泳力の向上を重点に置き、児童生徒の体力の向上を図ります。</p> <p>全国体力・運動能力、運動習慣等調査や大阪府の事業である3・4年生向けの体力テストを実施し、結果を分析することで、指導改善に生かします。</p>	<p>大阪経済大学と連携したオノマトペ体操を週に2回、朝の時間を活用して実施。また、8/7～8/9にとびうお教室を実施し、50名の児童が参加。大阪経済大学教授及び7名の学生が指導に当たり、児童の泳力強化に取り組みました。</p> <p>全国学力・運動能力、運動習慣等調査及び3・4年生の向けの体力テストを実施、分析することで、サーキットトレーニングを取り入れたり、体幹トレーニング（ストレッチ）を取り入れたりして、課題の改善に取り組んでいます。</p>	<p>子どもたちの豊かな遊び・学びを支えるまちづくり（P37）</p>
本を活用した子どもの居場所づくり事業	<p>生涯学習センター図書室では、えほんのひろばやとしよしまつり等を実施し、子どもたちが楽しみながら学びを深める機会や、調べ学習のレファレンス等機会の提供及び図書の充実を行います。</p> <p>また、生涯学習センター図書室と学校図書室が連携し、身近な場所で本と親しむことができる環境づくりとして「らくだ図書館」を実施します。</p> <p>また、発達段階に応じた本選びの支援を行います。</p>	<p>学校休業期以外に能勢ささゆり学園において、月1回「らくだ図書館」を運営しています。学校との連携においては、学校にない書籍の貸出しや、府立図書館からの借入れにおいて対応を行っています。図書に子どもたちが触れ合える機会として、としよしまつりや絵本のひろば等のイベントを行っています。</p>	<p>子どもたちの豊かな遊び・学びを支えるまちづくり（P37）</p>

事業名	令和7年度の実施目標・課題	令和7年度進捗状況	事業計画・基本目標
認知症サポーター養成講座・キッズサポーターの養成	認知症について正しい知識を持ち、認知症になっても住み慣れた場所で安心して暮らせる町づくりを目指し、認知症の人やその家族を見守る輪を広げるため、一般住民や小学生を対象として認知症サポーター養成講座を実施します。	一般住民向けの認知症サポーター養成講座を10月30日に実施しました。また、12月には能勢ささゆり学園の前期課程4年生を対象としてキッズサポーター養成講座を実施する予定です。	子どもたちの豊かな遊び・学びを支えるまちづくり (P37)
ICT環境の整備	令和7年2月に改訂した「能勢町ICT教育環境整備方針」に基づき、指導者用タブレットを更新し、能勢ささゆり学園のICT教育環境を整備します。 また、第2期GIGAスクール構想での児童生徒用端末更新について、令和7年度中の運用開始を目指します。	7月に指導者用タブレット56台、10月に児童生徒用端末450台を更新し、運用を開始しました。	子どもたちの豊かな遊び・学びを支えるまちづくり (P38)
スクールサポーター等活用事業	課題を有する児童生徒の支援を行うため、スクールソーシャルワーカー・スクールサポーター・校内教育支援員を活用し、校外（チャージング）及び校内（ステップ）教育支援センターを開設します。 また、令和5年度にスタートした「地域事業所インターンシップ」の取組を充実させ、キャリア教育の充実を図ります。	○チャージング：生涯学習センター42日間・ふれあいプラザ6日間・計48日間実施予定。 保護者会（年間2回）やケース会議（年間3回）、校外学習（年間3回）等を実施し、家庭と学校以外の居場所づくりとしての成果が見られています。 ○ステップルーム：校内教育支援員を核とし、学校がある日は毎日開設。 チャージングからステップルームを経て、教室に復帰できるケースが複数見られています。 ○地域事業所インターンシップ：能勢地域の事業所での職場体験やそこで働く方との出会いを通して、進路選択に向けて具体的なイメージを持ち、能動的にインターンシップに取り組む生徒が多く見られています。（町内28事業所で実施）	子どもたちの豊かな遊び・学びを支えるまちづくり (P38)

令和7年度 子ども・子育て支援事業計画進捗状況等

資料 4

事業名	令和7年度の実施目標・課題	令和7年度進捗状況	事業計画・基本目標
学力向上支援事業	<p>学校・家庭・関係機関と連携しながら、学力向上に取り組みます。</p> <p>アフタースクール（後期課程）では、学力向上担当指導主事が指導に関わり、面談の回数を増やすなど実施方法を改善し、受講者数の増加（令和5年度12人→令和6年度17人）及び学びの質の向上を目指します。</p> <p>国、府が実施するテストに加え、能勢町で実施する算数・数学検定（希望者）、漢字検定（2～4年生全員・希望者）、民間模擬試験（9年）を活用し、確かな学力の定着を図ります。</p>	<p>○アフタースクール：9月現在：受講者21名。個別面談・イベント（生徒の希望による集団指導）等を実施することで、受講者の高い出席率につながっています。</p> <p>○漢字検定（希望者）：8月21日実施。18名受験。漢字検定（2～4年生全員）：2月6日実施予定。2～4年生全員の実施については、例年85%前後の高い合格率となっています。一方で定着については課題が見られています。</p> <p>○数学検定（希望者）：令和6年度に2月実施から12月実施にすることで、受験者数の減少が見られたため、令和7年度は令和5年以前の2月実施に変更し、2月14日実施予定。</p> <p>○民間模擬試験：9年生の実力テストとして実施。6月実施は生徒の現状把握、1月実施は進路指導の重要な資料として活用。令和7年度は6月12日実施及び1月22日実施予定。</p>	<p>子どもたちの豊かな遊び・学びを支えるまちづくり（P38）</p>
黄色いハンカチ事業	<p>登下校時の児童生徒の安全確保の更なる充実のため、警察・学校・関係団体等との連携をより密にし、事故や事件の未然防止に努めます。</p> <p>また、区長会などでしあわせ守り隊員増加のための募集を実施します。</p>	<p>9月末時点での登録者数 個人：78人 法人：30か所 計108</p> <p>児童生徒の登下校時に、しあわせ守り隊による見守り活動を行い、安心・安全な通学環境の確保に努めました。</p> <p>なお、教育委員会事務局においても、徒歩通学圏内を定期的に巡回し、事故の防止・抑制に努めました。</p> <p>また、しあわせ守り隊同士の意見交換の場である、意見交換会についても、6月2日に能勢ささゆり学園で実施し、隊員同士及び関係機関との情報共有・意見交換を行いました。</p>	<p>子どもや子育て家庭が安心して暮らすことのできるまちづくり（P40）</p>
子どもの貧困対策	<p>子どもの貧困対策強化促進事業は、子どもの生活に関する実態調査を踏まえ、能勢町において子どもの貧困対策を実施するに当たり、能勢町の人口規模、小中一貫の義務教育学校1校だからこそ取り組むことができる教育と福祉が協働連携した仕組みづくりを目指すものです。</p> <p>妊娠期から学齢期、引いては子ども若者支援の対象年齢までを視野に入れた「切れ目のない支援の仕組み」の構築と蓄積したデータの活用方策について検討を行い、教育と福祉が協働連携した体制整備を図ります。</p>	<p>子どもの未来応援センター（児童福祉主管と母子保健主管の両機能を備えた機関）において、保健師、社会福祉士、SSW、保育士等の担当者会議を毎月1回行い、気になる家庭についてあらゆる観点からアセスメントを実施。4月～9月末時点で毎月1回、計6回実施。</p> <p>また5月6月、10月11月、1月2月に開催される学校スクリーニング会議に町の社会福祉士も出席し、各児童生徒の情報を共有することで、福祉と教育の連携により切れ目のない支援、抜け目のない支援を行う体制整備を図っています。</p>	<p>子どもや子育て家庭が安心して暮らすことのできるまちづくり（P42）</p>